

平成 20 年度宮前区区民会議

宮前区の宝さがし～ときめき再発見～部会(第 4 回)

平成 20 年 10 月 24 日(金) 18 時～20 時

宮前保健所集団教育ホール

次 第

開 会

1 議 事

(1) 課題解決策に向けた進め方について

(2) 地域の資源について

2 その他

閉 会

配布資料

資料 1 宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料

資料 2 議論ペーパー

資料 3 宮前区の資源(宝物・顔の候補)

宮前区の資源の整理・課題解決策の提案に向けた検討資料

【前提】～これまでの議論を踏まえて～

- ・ 前回部会（9/22 開催）で、一度宮前区の宝物となりうる資源の分類・整理がまず必要ということ
で合意した。
- ・ また、「提案を行う上では、ある程度宝物としての対象を絞り込んでいく必要があるのではないか」
との意見も出た。

【宝物の分類……他区の事例】

- ・ 高津区：「高津のももちゃん」
2004年に市民参加の委員会により百の資源を選出。HP上で公開。冊子も作成。
風景 …… 緑地、農地、水、樹木、道、橋、建築物、夜景など
くらし …… イベント、商業施設、商店、名産品、施設など
活動 …… 市民活動団体、道場や塾、伝統工芸など
歴史 …… 歴史人物、寺社仏閣、史跡、石碑など
- ・ 川崎区：「川崎区の宝物」168点。HP上で公開。冊子も作成。
ものづくり
味づくり
現代の文化的なもの
歴史的なもの
イベント・祭り
にぎわい
港めぐり
人物

これまでに168点の「宝物」を発掘。1つ1つにつき、宝物シートを作成し、公開。
「宝物定義」として上記の8分類。2つ以上にチェックされている資源も多い。

【宝物の分類……宮前区の場合の意見】

- ・ 大分類としては、4~5分類くらいに分けられると良いのではないか。
- ・ これからつくりあげていくもの、すでにあるもの。
- ・ ハードとソフト又は、見えるもの、見えないもの
- ・ 観たい価値、買いたい価値、住みたい価値

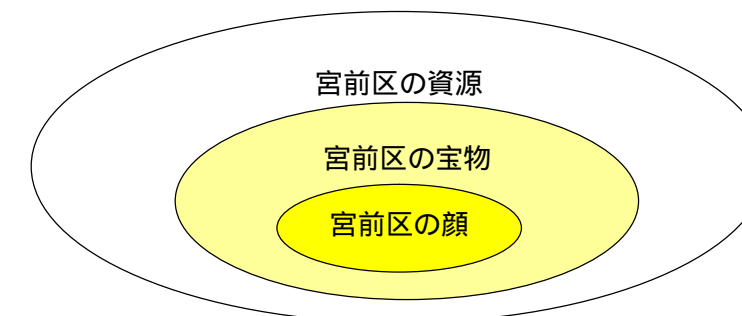
【宝物の分類……宮前区案】

- ・ 大分類 中分類の案
自然 …… 風景・緑・水・生物・植物など
歴史文化 …… 史跡・伝承・芸術・ゆかり人物など
くらし・産業 …… 産物・農業・工業など
活動 …… イベント・スポーツ・市民活動など
まち・施設 …… ランドマーク、建築物、施設など
- ・ 「楽しむ方法」として観たい・買いたい・住みたい・体験したい・食べたい・聞きたい
を加えてチェックできるようにしてはどうか。

【どうなったら「宝物」や「顔」と言えるのか？】

- ・ 宝物になるということと、顔になることの意味は少し違うのではないか。
- ・ 宝物は秘伝・秘密の物や潜在的な物もあるが、顔は外から見ても明らかでなければならない。
より広い範囲の人々から見ても「宝物」と言えるものが「顔」なのではないか
- ・ 顔はいくつもあってはおかしい。顔というところある程度絞り込まれる。
- ・ 宝物を顔に「押し上げていく」のではないか。
- ・ 顔には戦略が入っている。

<資源～宝物～顔の関係イメージ>



【その他、宝物や顔への「押し上げ」に関する意見】

- ・ 宝物（顔）づくりを宮前区を活性化させる運動と捉える。
- ・ 子どもを巻き込む戦略性、子どもにもわかりやすい楽しさの演出が必要だ。
- ・ 宝探しが子育てやいやし、福祉などにもつながると良い。
- ・ 宝物の整理は他区でもこれまで行なわれてきたが、単発に終わっている傾向があるのではないか。
単発に終わらせないためには、単なる紹介に終わるのではなく、発掘やプロデュースのプロセス
を区民が共有することが大切である。
- ・ 郷土愛を育て、終の棲家となるように、定住率が上がるようにしたい。
- ・ 資源のつながりがわかるようなガイドブックがあると良い。

【課題解決策のイメージ（案）】

- ・ 資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
- ・ 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

目指すべき方向性

地域みんなで共有できる宝物（顔）を通じて地域への誇りや愛着を育み、地域コミュニティの形成を図る。

全体会での意見など

- ・ときめき再発見はいい名前だ。宝が活用されないとときめかない。
- ・地域を高める。観光地として、住まいとしての価値を高める。宮前区には知られていない宝がまだまだある。
- ・新しいものを探すことも重要だが、あるものを利用して新しいものを作ることも必要。
- ・宮前区がどんなところかアピールするものがない。
- ・宮前区は緑がたくさんあって、きれいなまちのイメージである。いいまちだと多くの人が思えるようにしたい。

宮前区の宝・顔に関する現状と取組

- ◆地域資源（宝もの）に関する現状
 - 歴史文化・自然・活動・都市農業など多くの魅力的な資源はあるが、区民にあまり知られていない。
 - 区内の資源を総括的にまとめたわかりやすい資料が無い。
 - 観光協会が発足し、区内の魅力発信に向けた活動を開始した。
 - 目に見える宝のほか、目に見えない宝として風土などがある。
- ◆宮前区に対する内外のイメージ
 - 閑静で自然豊かな良好な住宅地で、教育水準も高いといわれているが、繁華街が少なく、特徴・シンボルに欠ける面がある。
 - 区のイメージで「とくにない」の回答した区民の割合が市内7区で最も多い（H15、市民1万人アンケート）。
 - 「宮前区ってどんなまち？」と聞かれて、答えられるものや、共通のイメージが無いのではないか。
- ◆その他 宮前区をめぐる現状
 - 宮前地区と向丘地区は、東名高速道路が概ねその境となっている。→宮前地区は相模の国の影響が、向丘地区には武蔵の国の影響が残っている？
 - 元々、田園都市線沿線を中心に、良好な住宅地として開発されてきた経緯がある。
 - メディア等の露出が多いのは、田園都市線沿線の地域が中心である。

宝や顔があるまちのイメージ

- ◆区民一人ひとりにとって・・・
 - 自分の住んでいるまちについて、区外の人に紹介することができる
 - 地域に愛着を持っている（終の棲家とする）
 - 地域を大切に思い、近隣との良好なコミュニケーションが図れている
- ◆地域社会にとって・・・
 - 地域に愛着を持つ区民が多くなることで、豊かな地域コミュニティが形成され、地域の課題も地域が主体となって解決にあたっている

解決すべき課題

- 区の「宝」「顔」となりうる様々な資源を区内で共有し、区外には広くPRする必要がある。
 - PRを効果的に行うためには、資源の特徴をよく掴む必要がある。
- 【課題解決策に向けた検討手法】
- 現状の資源の特徴を把握

➔

課題解決策イメージ

 - 資源を宝物に、宝物を顔に押し上げていく具体的なプロセス
 - 宝・顔に押し上げた区の資源を内外にPRするための具体的な手法

具体的な課題解決策

（この領域は具体的な課題解決策の議論が行われる予定の領域です。現時点では空欄です。）

